

**8つの問題**を、もう先送りしない！

<b>1</b>	<b>展望の見えない市立病院の経営</b>	借金返済に、毎年の約14億円の仕送りで足りず、追加で6億円必要に。 	経営悪化の原因究明と情報公開をし、市民ニーズに合った市立病院へ。 
<b>2</b>	<b>中身の乏しい健康都市えべつ</b>	外出支援、生きがいの創出等の視点が欠けており、保健政策として部分的。	福祉バスの無料化、ワンコインがん検診、セカンドライフ支援事業等の導入。 
<b>3</b>	<b>危機に直面する市の財政運営</b>	資金不足により、貯金を毎年切り崩し、4年間で約半分、現在約17億円。 	事業の棚卸しをし、予算編成過程を公開するとともに、稼ぐ財政を推進。
<b>4</b>	<b>時代錯誤の市役所庁舎建替</b>	約130億円で、市民会館との合築建替が望ましいとする報告書を公開。	計画段階から市民意見を聞き、先行事例と人口予測に基づく庁舎建替。 
<b>5</b>	<b>戦略のない江別ブランドの構築</b>	認知度が向上せず、ふるさと納税も低調、場当たり的な政策展開が続く。	マーケティング課、ふるさと納税の歩合制委託、空家の活用優遇等の実施。 
<b>6</b>	<b>時代遅れの地域活性化施策</b>	前例踏襲から抜け出せず、歴史や文化などの資源を価値に変えられてない。	農商工と観光の連携、人材と事業・不動産のマッチングによる起業等の支援。 
<b>7</b>	<b>変化に対応できない人材育成</b>	2020年教育改革、地方創生、働き方改革等の時流に対応できていない。	独自の教育環境整備、官民一体の人材誘致、人を活かす人事制度の導入。 
<b>8</b>	<b>うわべだけの協働のまちづくり</b>	市政執行の基盤に位置づけている協働を、実感している市民が約2割。	市長が率先して市民と対話し、市民の創造性を活かすまちづくりへの転換。 

★1：財政調整基金。特定目的のない基金であり、緊急時の対応のために積立されている。



1  
教育も子育ても  
安心のまち

- 時代に適応した独自  
教育と充実した子育  
ての環境を整備します。
  - 課題解決型探求学習の場づくり
  - 働くお母さんを支える拠点の整備
  - 待機児童対策と学童保育への助成
  - ベビーシッターの利用促進の制度化

2

- 困りごとの市長直通SNSの設置
  - 福祉除雪サービスの利用要件緩和
  - 不便地域へのデマンドバス等の整備
  - 精神障害者交通費助成の拡大

3

- 高齢であっても体と心が健康でいられるための取組を開始します。
  - 外出支援のための福祉バスの無料化
  - 交流空間付き多世代共生住宅の整備
  - 官民一体の介護人材の育成と誘致
  - 在宅医療・看護・介護の連携強化

4

- 地域の災害対応マニュアルの作成
  - 災害時を再現した避難と支援の訓練
  - ゲーム性を取り入れた防災啓発
  - 耐震化のための補助金の制度化

5

- 民間提案による緑のまちづくりの推進
  - 古民家等の利活用補助金の制度化
  - 起業家や芸術家を呼び込む環境整備
  - 江別ゴミ・リサイクル構築等の実績の発信

6

- 次世代をつくる新産業の開発支援
  - 事業承継のコーディネート体制の確立
  - 地元就職の奨学金返済支援の制度化

7

- 市民活動へのふるさと納税の活用
  - 官民をつなぐコーディネーター制度の導入
  - 市民プレゼン大会の開催と事業化

8

- 民間連携や業務改善などで期待に応えられることを目指す
  - 市民ニーズに基づく事業執行の徹底
  - 既存事業を前提としない予算編成
  - 包括施設管理委託など民間活力の導入

江別市立病院 4番地 011-802-7780

詳しい政策はこちらから ▶ [www.ebetsu2.net](http://www.ebetsu2.net)

★2：大学入試が記述式になり、学力だけではなく、  
やり抜く力など測れない能力を求めるなど、  
国の教育政策が大転換をする



LINE@

